

ボランティア集団“吹上苑町会おたすけ隊” との連携による地域防災

千葉県習志野市吹上苑自主防災会
会長 岩崎 悟



1 はじめに

習志野市は、千葉県の北西部の一角を占め、東に千葉市、西に船橋市、北に八千代市と接し、南は波穏やかな東京湾に面し、海岸は京葉港の一部となって、谷津はラムサール条約の登録湿地である谷津干潟を有します。私たちの吹上苑町会は160世帯、360名からなっています。

2 自主防災会とおたすけ隊の発足

平成12年12月に、町会の防災防犯活動・啓発活動などを行い、住民の意識を高めるのを目的として自主防災会を設立しました。その活動のなか、年々、高齢化が進んでおり、空家や高齢者の一人暮らしも見られるようになりました。そこで、高齢者の支援を中心とした「おたすけ隊」を自主防災会とは別に平成18年に設立しました。現在、自主防災会は47名、おたすけ隊は20名が会員になっており、重複している熱心な会員もいます。

自主防災会とおたすけ隊は、それぞれ



おたすけ隊の準備の様子

の活動だけではなく、連携をとりつつ行う活動も多く見られます。

3 主な連携活動

① 夜間パトロール

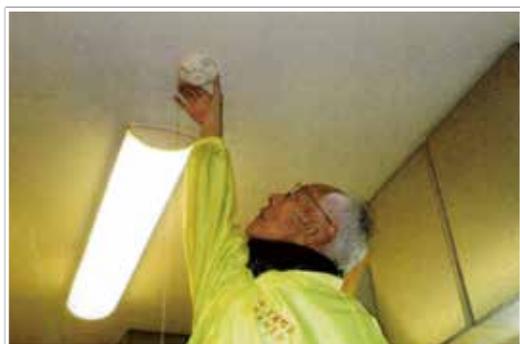
おたすけ隊は、夜間防災防犯を目的として、毎週、火曜日に実施しています。その結果を月一度、話し合いを行っています。その中に自主防災会の役員が参加し、情報を得るようにしています。また、その中で、自主防災会ができることと連携の必要なものに向け、今後の活動の目安としています。また、必要があるときは自主防災会の役員を中心にパトロールに参加し、話し合いに出た情報をもとに確認等の活動を行っています。

② 住宅用火災警報器の啓発運動と設置の実施

平成30年1月29日12時頃に火災がありました。その家では、住宅用火災警報器が未設置でした。そこで、自主防災会としては、啓発活動としてプリントを作成し、各家庭への配布をしました。また、地域の連絡板にはポスターを貼り、啓発活動に力を入れました。その後、住宅用火災警報器の設置については、おたすけ隊がお手伝いに家庭に伺うように連携をとりました。なお、おたすけ隊が設置できないときは、自



住宅用火災警報器の設置場所



おたすけ隊による火災警報器の設置



町内会危険箇所の実態調査

主防災会もお手伝いするようにしました。

③ 危険箇所の実態調査と改良及び市との連携

高齢者や障害を持った人の支援として、森林・物置・屋根などの実態を自主防災会が中心になって調査しています。

一例として、平成29年8月10日に町内の崖の様子を調査し、おたすけ隊に連絡しました。おたすけ隊と相談の上、8月20日に一緒に改善活動を実施しました。当日、自主防災会からも支援として、10名が参加しています。また、崖の様子の中で手に負えないものは、自主防災会会長が様子を把握し、市役所に連絡をとりました。

④ その他の連携

- ・地震に備えての家具転倒防止の具体的な方法などの啓発や設置への支援
- ・地震おける避難行動要支援者への避難における支援活動の方法や訓練の実施

4 おわりに

このような活動が認められ、「第21回防災まちづくり大賞」で日本防火・防災協会会長賞を受賞しました。

私たちは、お年寄りらの生活をサポートする町会のボランティア組織の自主防災会・おたすけ隊と連携し、各家庭への防災対策などを啓発したり、火災警報器



習志野市長への受賞報告会

の設置の支援などを行ったことが評価されたことを嬉しく思っています。

今後は、地道に地域の防災防犯活動、啓発を行うとともに、高齢者だけではなく、子供たちへの声かけなどを行っていきたいと思っています。また、町会全体が連携をとりながら、子供たちとパトロールをしたり、昔の遊びや地域の歴史の話・歴史探訪などを計画して、地域の絆を高めながら、自分たちも楽しみながら、こつこつと続けていきたいと思っています。これが、これから地域の防災防犯の一助となると信じております。

今後は地域の安心・安全が守られるように、頑張っていきたいと思っています。